

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	4月出荷見込み 千本		主産地	4月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (93%)	アバランジェ、エベレスト、ピンクサブライズ、プリマドンナ、レベッカ、レモン他	1,186 (100%)	443 (100%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	35	35	30
スターチス	山梨県	1.2 (100%)	スーパーレ、ディーローズ	25 (100%)	23 (92%)	甲府市	50	25	25
バラ	群馬県	15.3 (90%)	アヴァランチェ、サムライ、他多数品種	1,060 (100%)	950 (100%)	前橋市、利根沼田、甘楽富岡	35	35	30
	山梨県	3.8 (93%)	ローテローゼ、サムライ等	190	200	笛吹市(御坂町)	35	35	30
	愛知県	-	サムライ、レッドスター、アヴァランチェ、ティネケ、シンディ、ファンタジー、ファンファーレ他	4,500 (100%)	2,650 (100%)	愛知みなみ、豊橋、ひまわり、西三河	35	30	35
	静岡県	40 (97%)	ローテローゼ、サムライ、アヴァランチェ	1,900 (97%)	1,700 (97%)	JA掛川市、JA大井川、JAしみず、JA遠州夢咲	40	30	30

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	気温の上昇や日射量の増加にともない、生育・開花が進み、出荷数量はほぼ平年並の見込み。切り花品質は良好である。	<p>現状 愛知・山形・長野・北海道産を中心に気温の上昇と共に数量まとまり安定した入荷が続いた。各産地で数量まとまり、全国的に数量が増加したことから低調な相場展開となった。</p> <p>見通し 愛知・長野産は5月に入ると植え替えに入る為減少してくる見込み。その為、出荷が終了する品種があり品種数は減少する見込み。山形産は引き続き数量まとまるが、黄色が少ない見込み。北海道産はやや増加する見込み。</p> <p>大田花き 780,000本 @45</p> <p>FAJ 引き続き出荷のピークとなる。入荷量まとまる。販売は、弱保合相場で推移する見込み。</p> <p>第一花き 業務・ブライダル需要の品種の引き合いは有る。特に大きな需要も少ない時期で概ね例年並みの流れ。 @60</p> <p>世田谷花き 敦里では、母の日前にピークを占める見込み。FBIに切り花減少傾向</p> <p>東日本板橋花き 愛知・青森・福島の入荷。母の日需要で少し動きあり。</p>
スターチス	気温上昇に伴い昨年と同様の生育となる。品質良好。	<p>現状 シニアータに関しては天候も良く、紫中心に安定した出荷となった。ハイブリッドに関しては遅れていた部分が徐々に出荷となり、上位から下位まで安定した出荷となった。シネンシス系は高冷地が冷え込みの影響で遅れており、下旬より少量の出荷となった。</p> <p>見通し シニアータは概ね順調で昨年並の出荷を予定している。ハイブリッドは大分中心に昨年並から遅れていた分やや増加の見込み。シネンシス系は北海道中心に昨年並の入荷予定となっている。</p> <p>大田花き 入荷量横ばい。大きな需要はなく、弱保合相場で推移する見込み。</p> <p>FAJ 需要も少ない中厳しい販売。</p> <p>第一花き HB@80 シニユア@40</p> <p>世田谷花き 和歌山産中旬までは潤沢。長野・北海道の高冷地も出始める。</p> <p>東日本板橋花き 母の日まで出荷量は多い。 シニアータ@30~10 HB@200~30</p>
バラ	<p>低温の影響でこれまでの例年よりも収量が少なめであったが、生育・品質は概ね順調で、5月は前年並みを見込む。改植シーズン。</p> <p>多少病害の発生があるものの、生育は順調である。</p> <p>早い方で一部改植を実施する生産者もいるが、毎年の流れであるため、大きな変動はない。5月母の日向けに主力品種は概ね間に合いそうである。今年は寒さが厳しかったこともあり、一部芽の吹きが悪かったり生育遅れも見られる。4月に入り回転率も上昇しているため5月中旬以降は昨年ベースの流れになりそう。5月中は上位もの中心の出荷が見込まれる。ポトやハダニに注意を促している。</p> <p>生産面積減から出荷量は前年を下回る見込み。現状、やや遅れ気味ではあるが、現状増えつつある中、需要期にピークが来る見込み。</p>	<p>現状 愛知・静岡など西南暖地はピークは過ぎたものの潤沢な入荷。高冷地は冬季休眠した産地が低温の影響で遅れている。全体としては例年より入荷が少なく、特別な引き合いはないが中値安定で推移。</p> <p>見通し 遅れていた高冷地も出揃う見込み。3月末にピークを迎えた西南暖地の産地は5月中旬以降に増加する見込み。母の日需要で下位等級のSTDやSPの引き合いが強まる見通し。</p> <p>大田花き 母の日需要で前半堅調。月後半も宴会などで安定した相場となる見込み。入荷量は徐々に増。</p> <p>FAJ 入荷バランスによるがブライダル・母の日中心の流れで例年並みの流れ。SP@110 SD@100</p> <p>第一花き 5月上旬から高冷地の一番花も増え、全体的に数量増。母の日に期待。</p> <p>世田谷花き 母の日需要で前半は引き合いがあるが、入荷は徐々に増えてくる。</p> <p>東日本板橋花き</p>